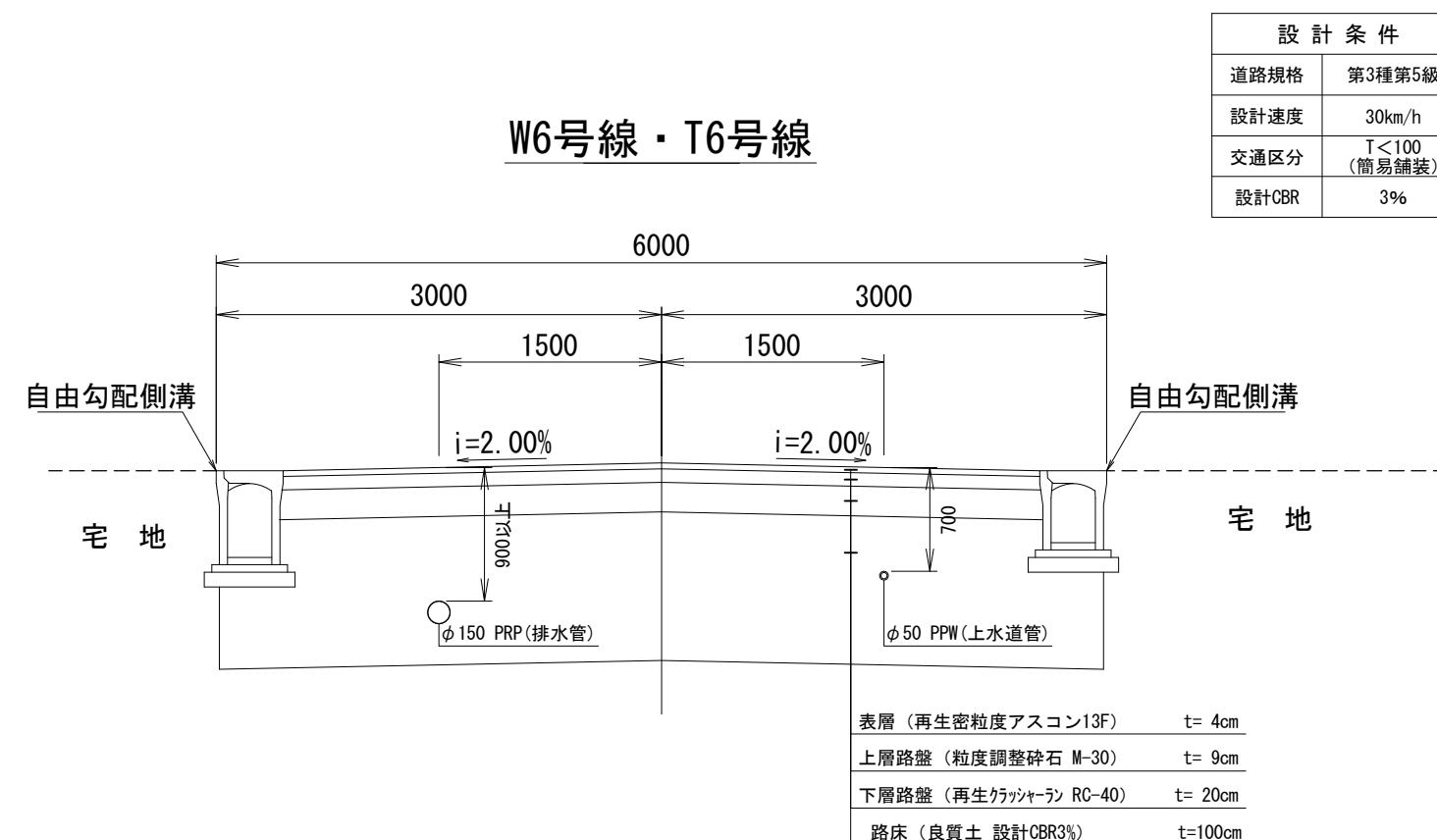


供給処理施設標準断面図



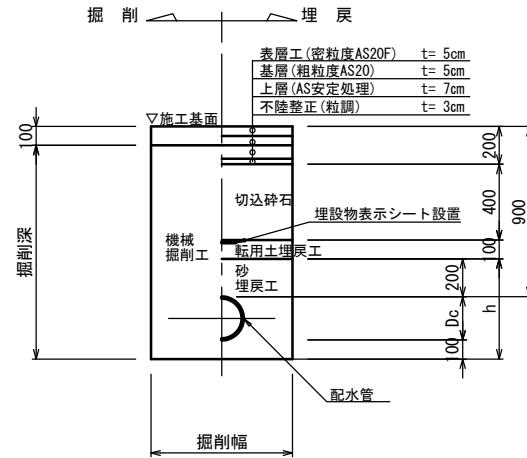
令和 7 年度	
業務名	災害公営住宅(仮称柳田団地)整備事業
路線名	
箇所	鳳珠郡能登町天坂及び五郎左エ門分 地内
図名	供給処理施設標準断面図
縮尺	S=1:25(A1) S=1:50(A3)
図面番号	1 / 14
能登町	

※北西に上水道管、南東に下水道管とする。

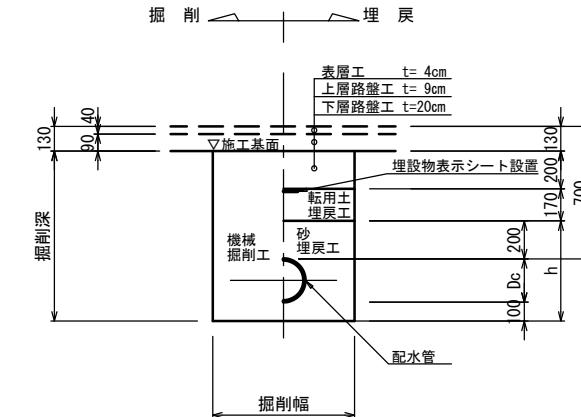
上水道管土工標準図

Non Scale

管土工標準図 県道(B交通)

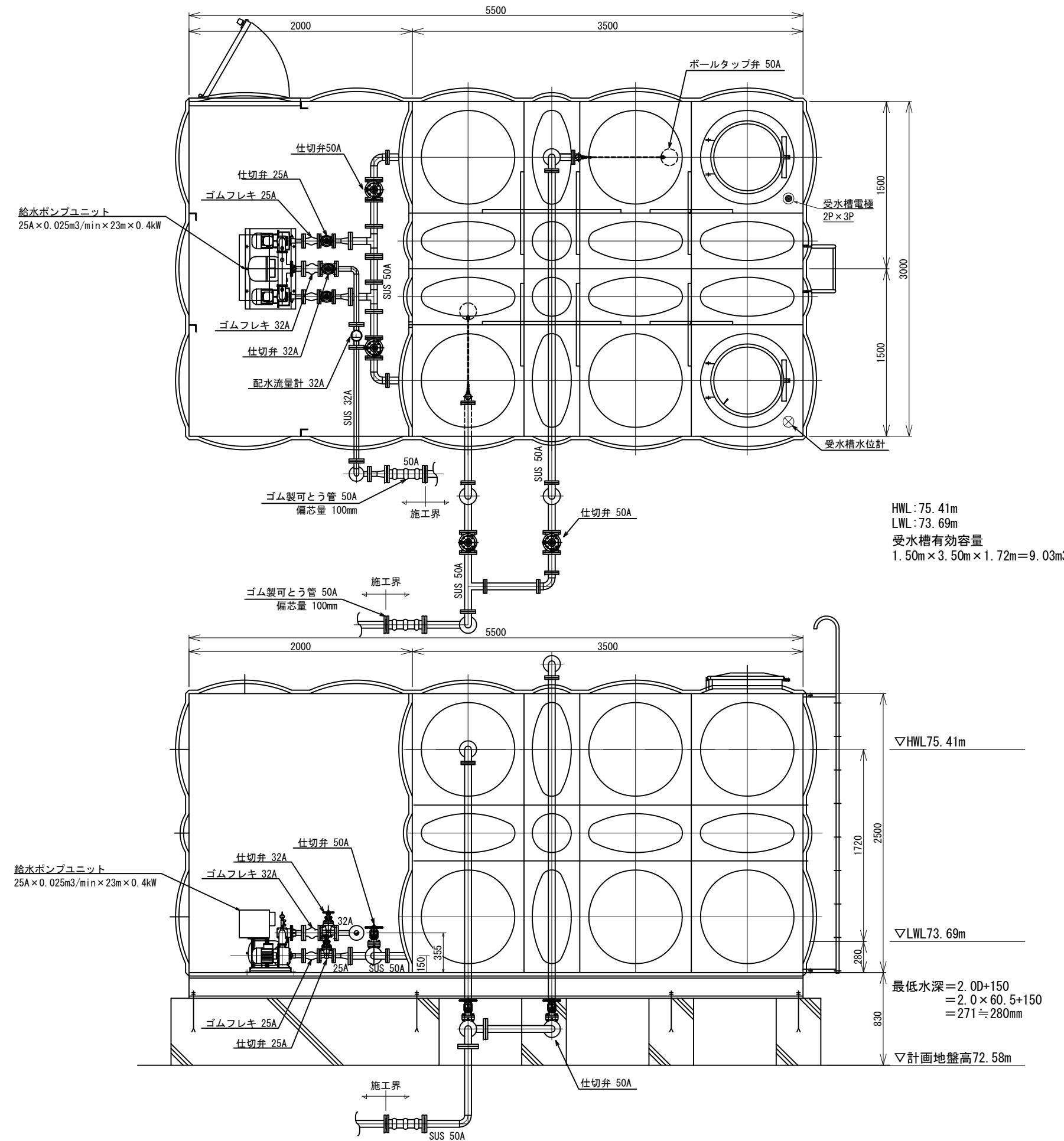


管土工標準 区画道路



令和 7 年度	
業 務 名	災害公営住宅(仮称柳田団地)整備事業
路 線 名	
箇 所	鳳珠都能登町天坂及び五郎左エ門分 地内
図 名	上水道管土工標準図
縮 尺	S=Non Scale
図面番号	2 / 14

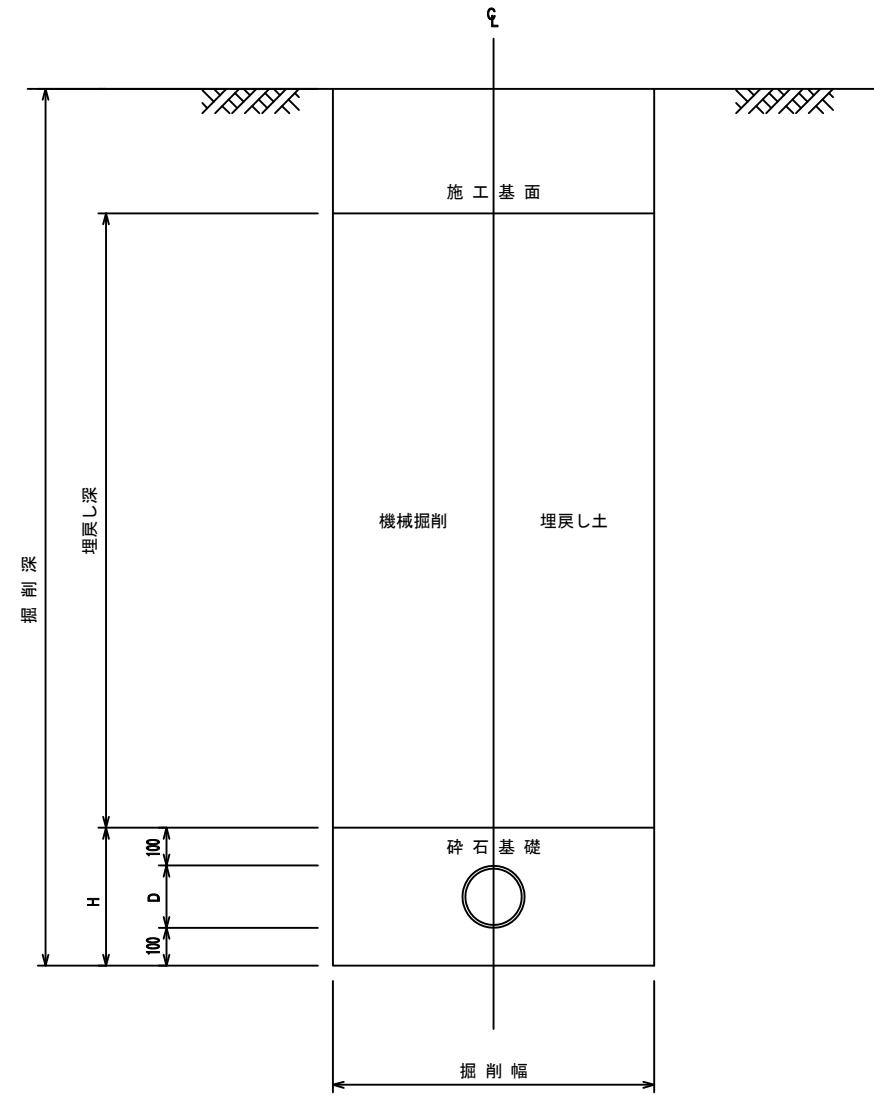
(参考図) 機器配置図



令和7年度	
業務名	災害公営住宅(仮称柳田団地)整備事業
路線名	
箇所	鳳珠都能登町天坂及び五郎左エ門分 地内
図名	(参考図)機器配置図
縮尺	S=1:20(A1) S=1:40(A3)
図面番号	3 / 14
能登町	

排水管掘削工・埋戻工標準図

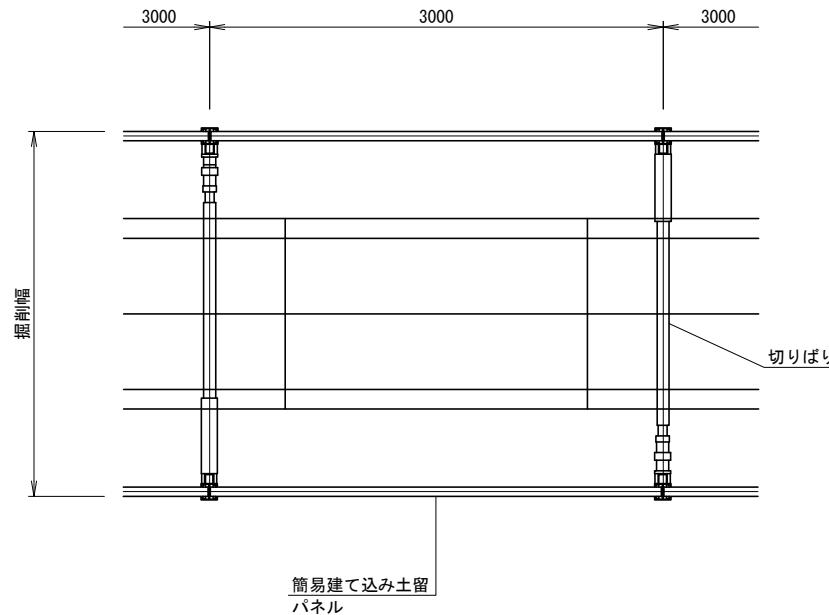
S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)



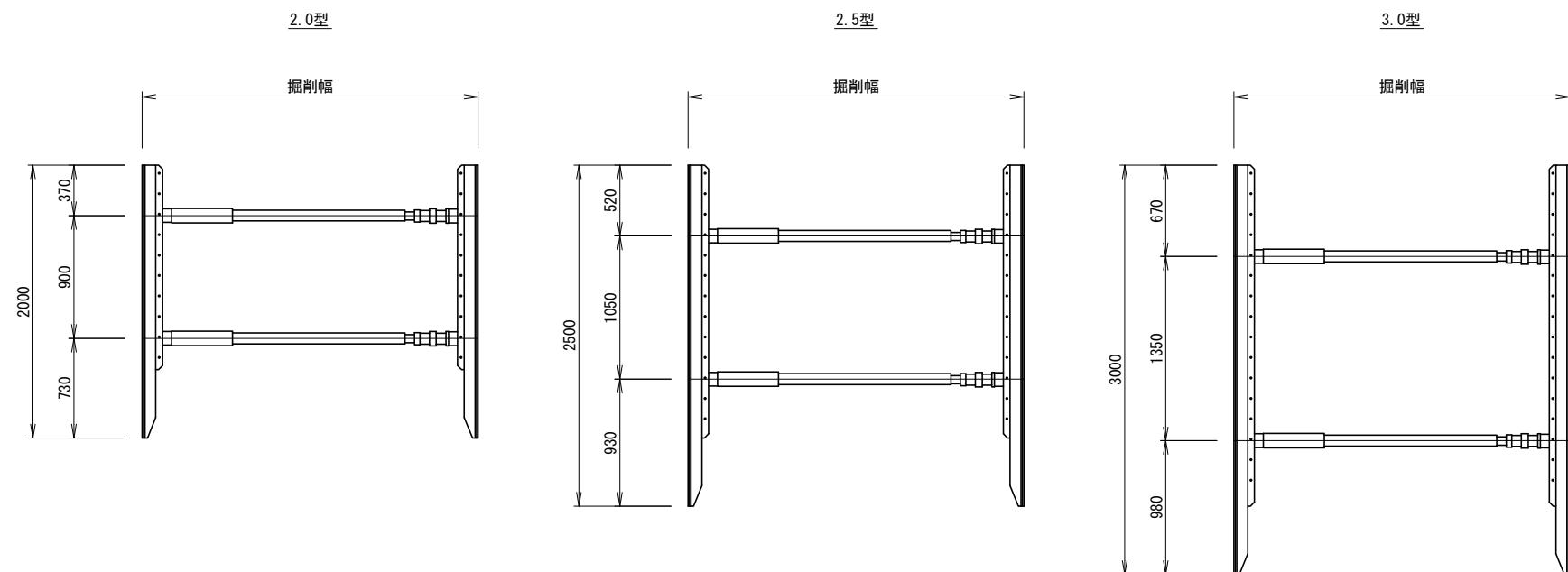
山留工標準図

S=1:25 (A1)
S=1:50 (A3)

平面図



断面図

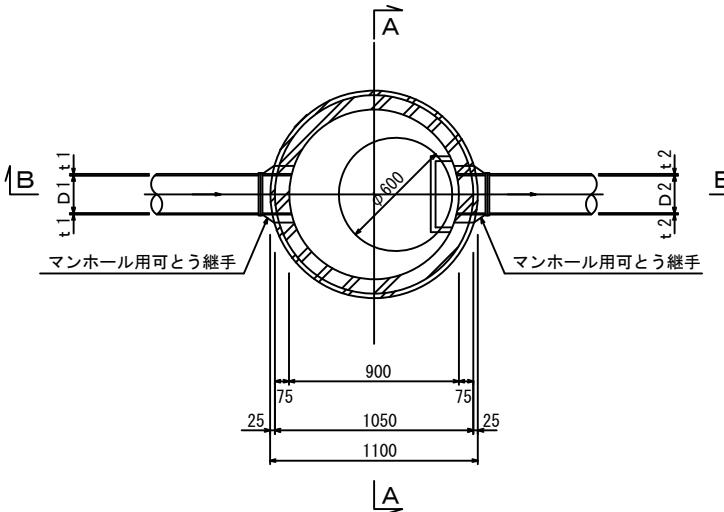


令和 7 年度	
業務名	災害公営住宅(仮称柳田団地)整備事業
路線名	
箇所	鳳珠郡能登町天坂及び五郎左エ門分 地内
図名	排水管掘削工・埋戻工標準図、山留工標準図
縮尺	図示
図面番号	4 / 14
能登町	

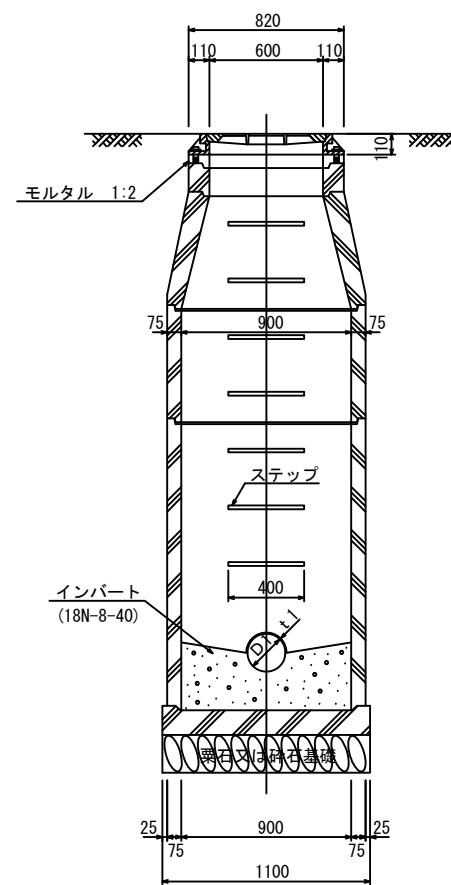
組立1号マンホール構造図

S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)

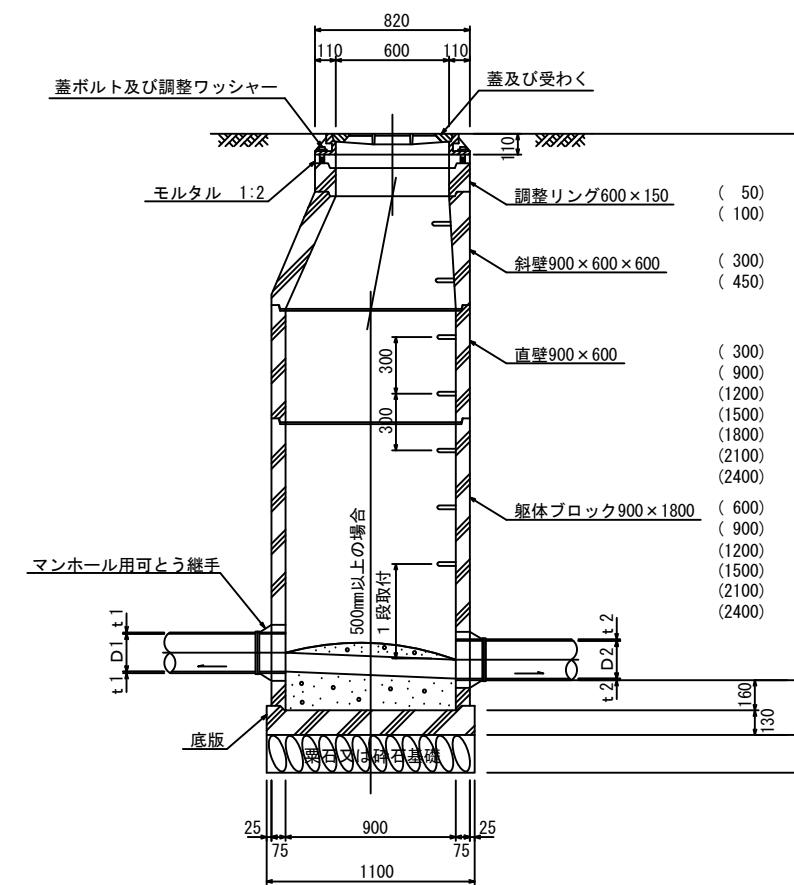
平面図



A-A断面図



B-B断面図



令和7年度	
業務名	災害公営住宅(仮称柳田団地)整備事業
路線名	
箇所	鳳珠郡能登町天坂及び五郎左エ門分 地内
図名	組立1号マンホール構造図
縮尺	S=1:20(A1) S=1:40(A3)
図面番号	5 / 14
能登町	

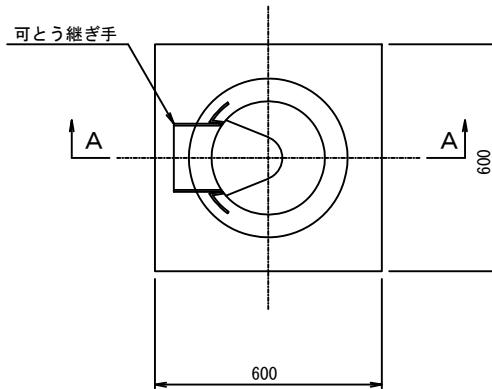
小口径マンホール構造図

S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)

コンクリート製

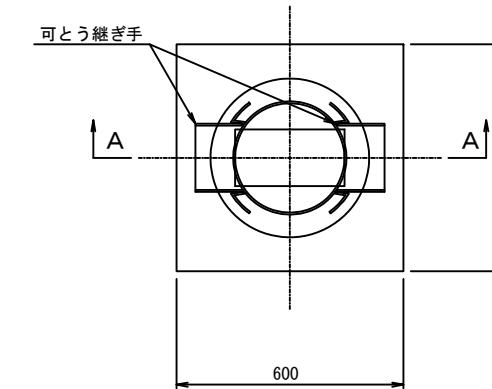
中間点用(屈曲部)

平面図

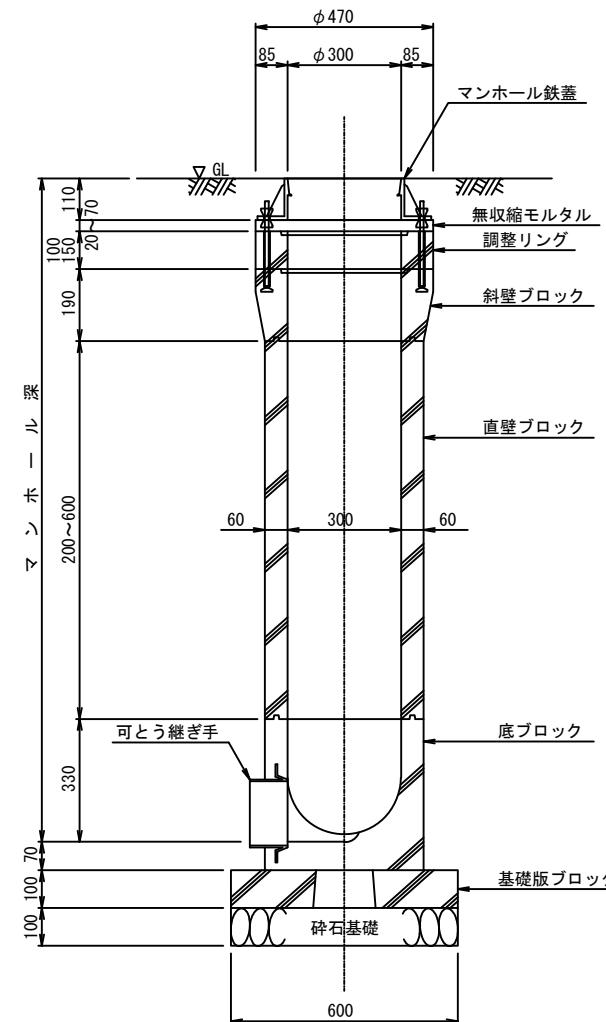


中間点用(直線部)

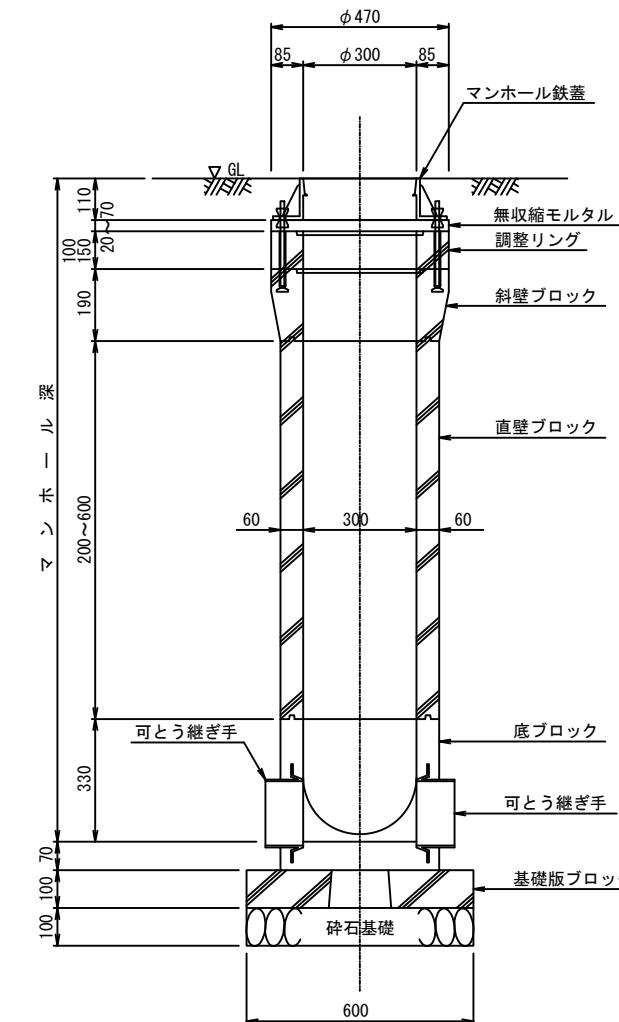
平面図



A-A断面図

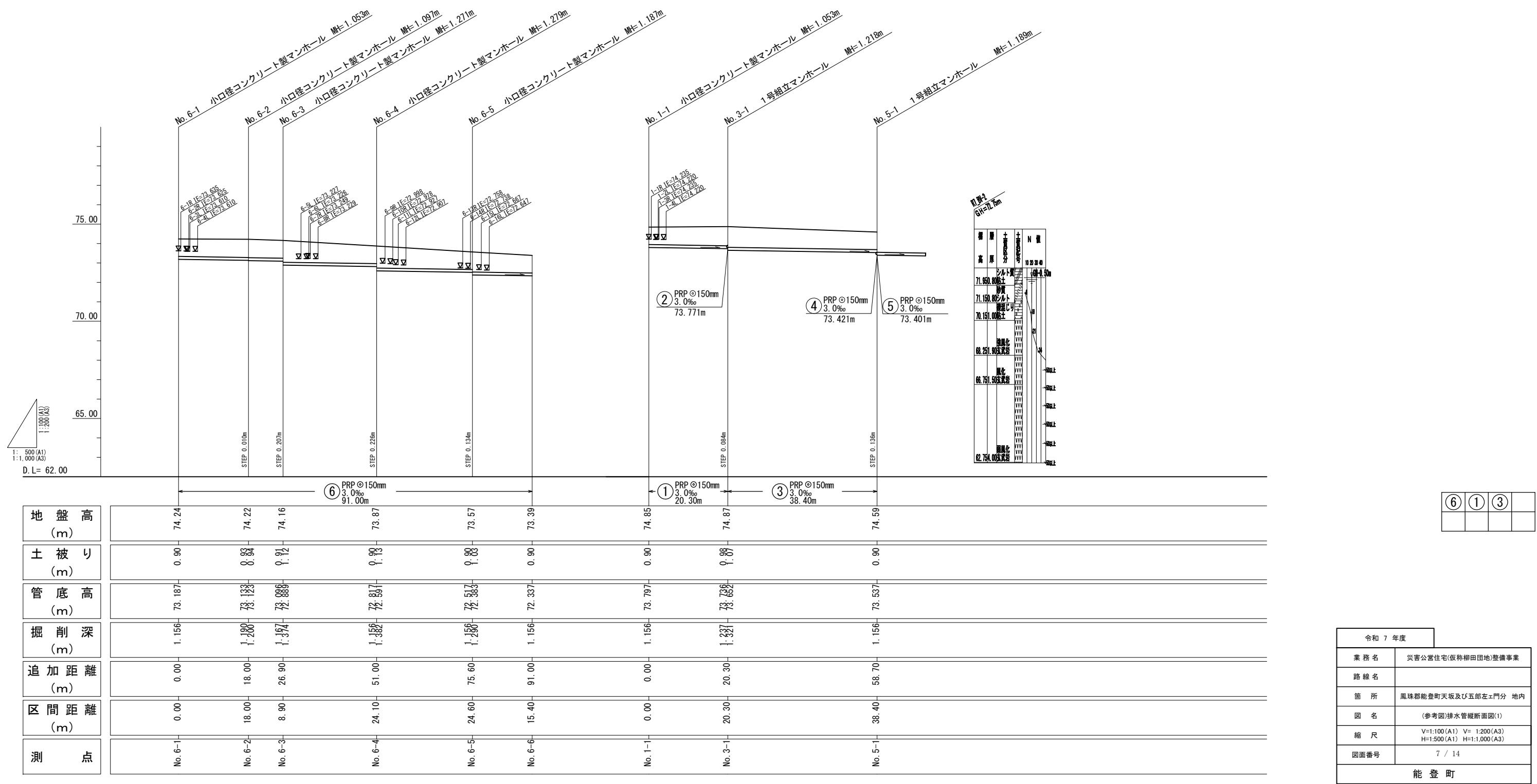


A-A断面図

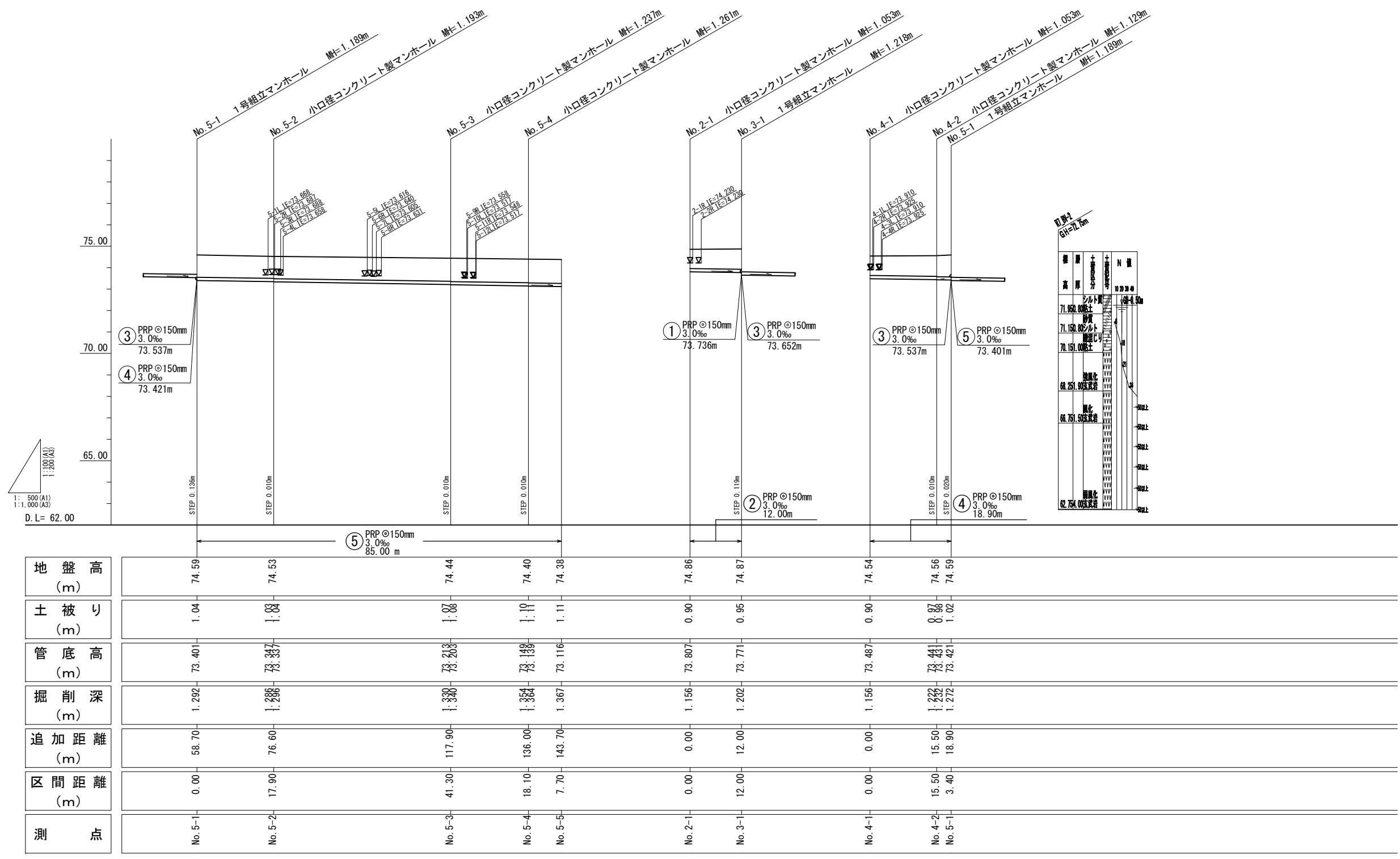


令和7年度	
業務名	災害公営住宅(仮称柳田団地)整備事業
路線名	
箇所	鳳珠郡能登町天坂及び五郎左エ門分 地内
図名	小口径マンホール構造図
縮尺	S=1:10 (A1) S=1:20 (A3)
図面番号	6 / 14
能登町	

(参考図) 排水管縦断面図(1)

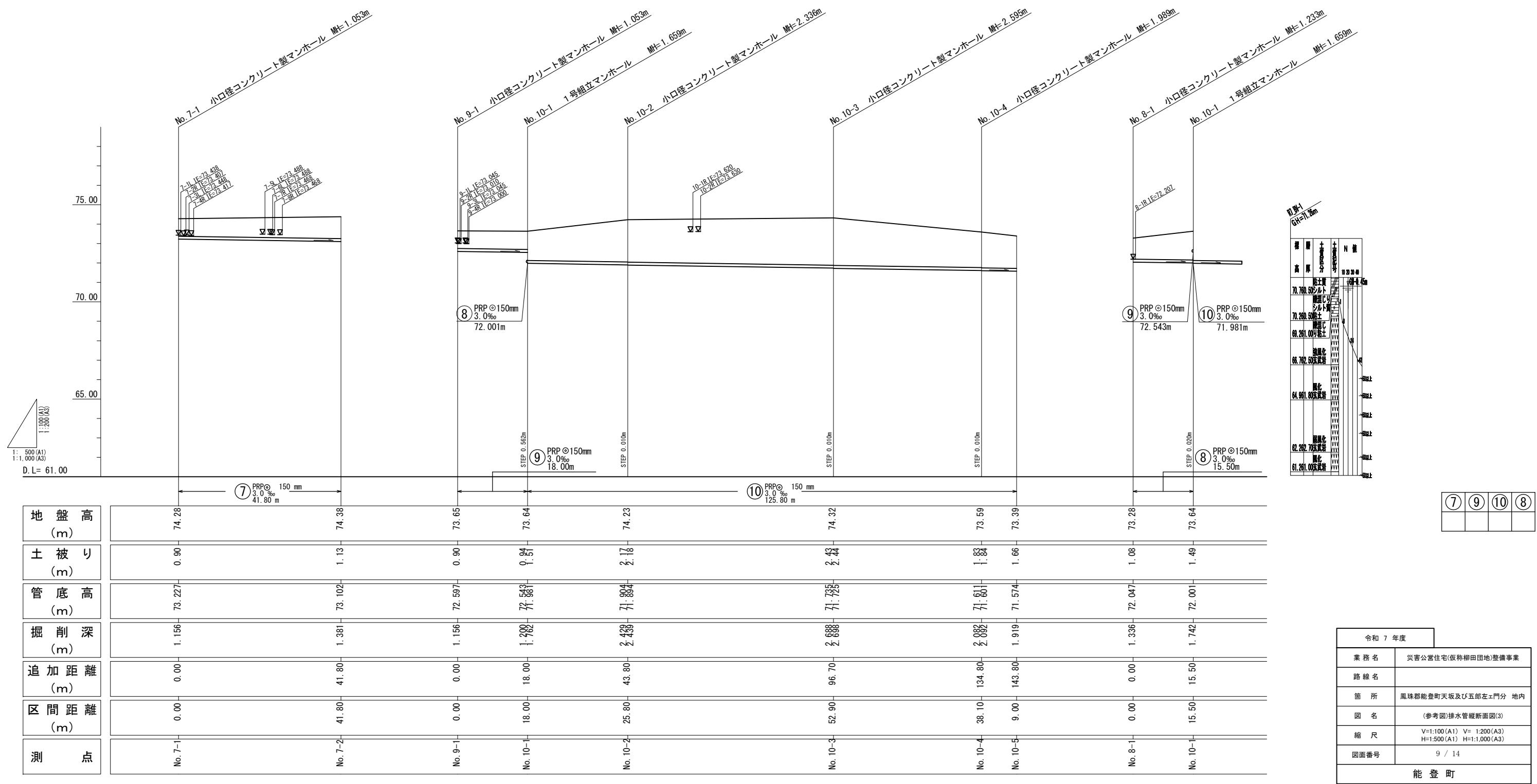


(参考図) 排水管縦断面図(2)

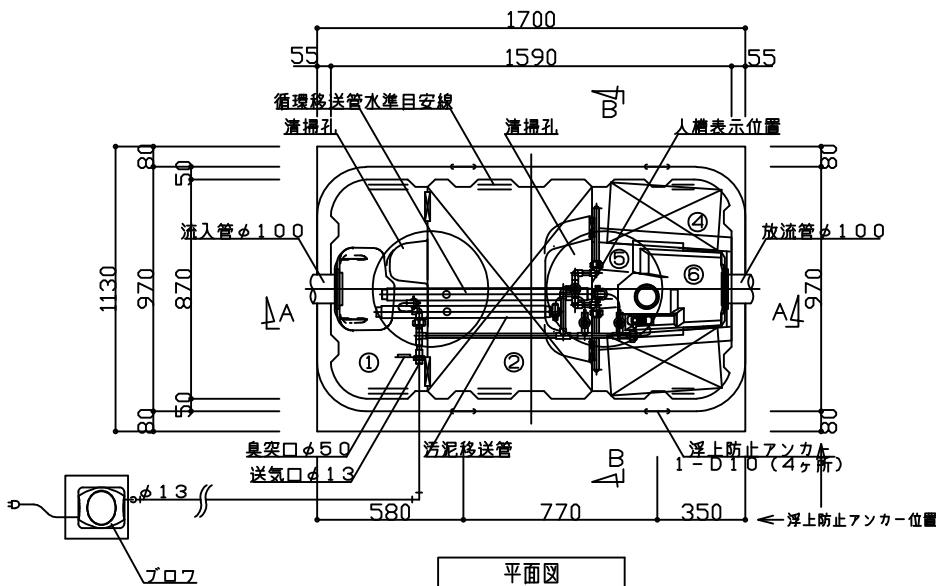


令和 7 年度	
業 務 名	災害公営住宅(仮称柳田団地)整備事業
路 線 名	
箇 所	鳳珠郡能登町坂井及び五郎左エ門分 地内
図 名	(参考図)排水管継断面図(2)
縮 尺	V=1:100 (A1) V= 1:200 (A3) H=1:500 (A1) H=1:1,000 (A3)
図面番号	8 / 14
能 登 町	

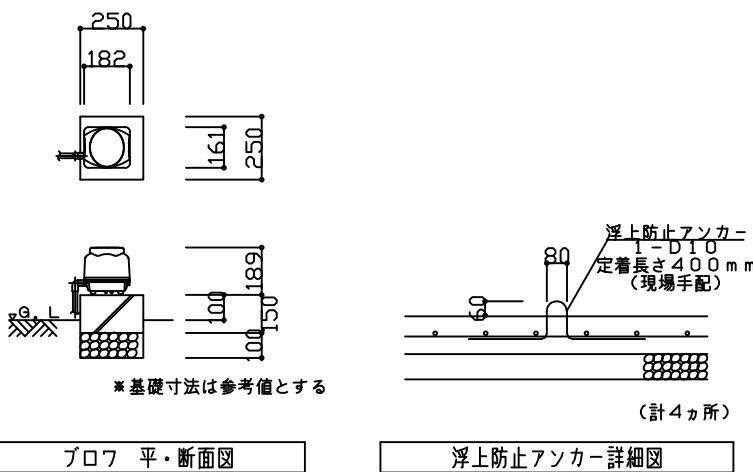
(参考図) 排水管縦断面図(3)



(参考図)浄化槽標準図(5人槽)

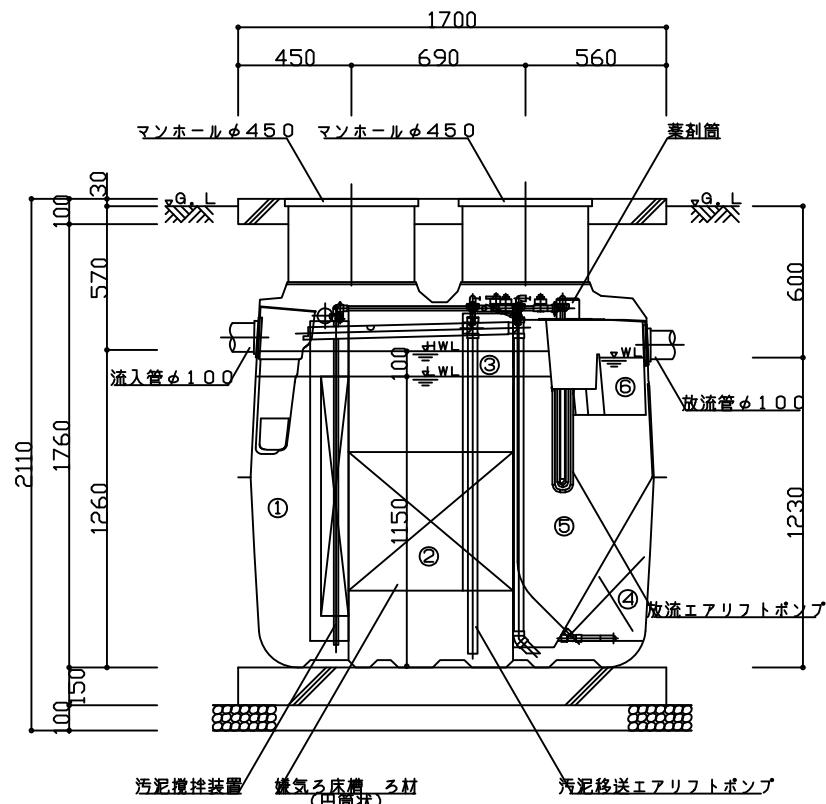


一般事項	
コンクリート	$F_c = 21 N/mm^2$
鉄筋	SD295A
定着及縫手	40d
開口補強筋	D13シングル
地業	碎石又はRC 40~0

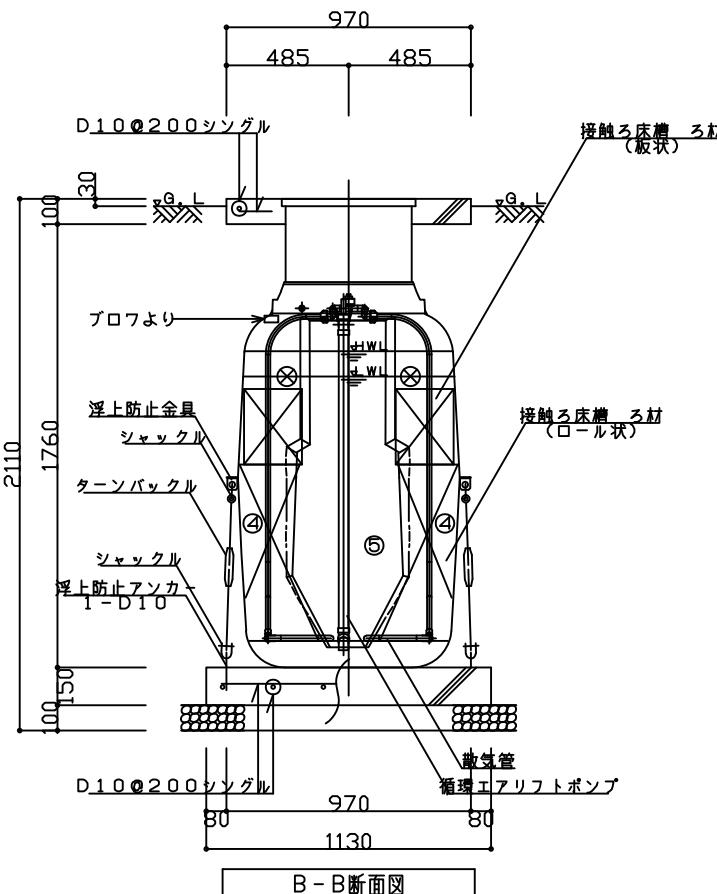


プロフ平・断面図

浮上防止アンカー詳細図



A-A断面図



令和7年度	
業務名	災害公営住宅(仮称柳田団地)整備事業
路線名	
箇所	鳳珠郡能登町天坂及び五郎左エ門分 地内
図名	(参考図)浄化槽標準図(5人槽)
縮尺	S=1:15(A1) S=1:30(A3)
図面番号	10 / 14
能登町	

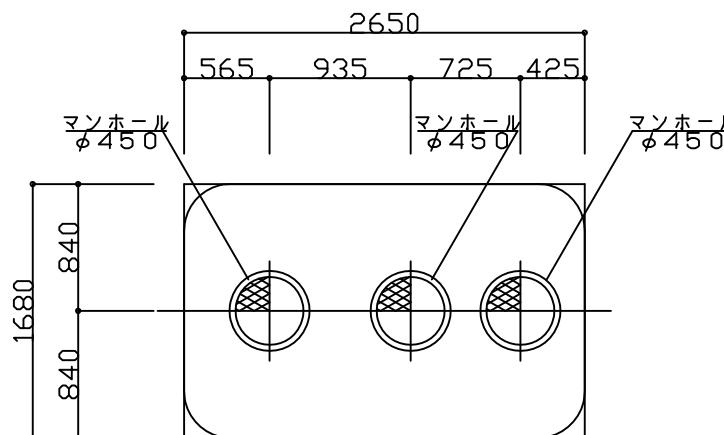
仕様表		
設計番号	-	
型式名称	5型	
処理対象人員	5人	
汚水量	1.00m ³ /d	
流入水質	BOD200mg/L COD100mg/L T-N 45mg/L SS 160mg/L	
放流水質	BOD 20mg/L COD 30mg/L T-N 20mg/L SS 15mg/L	
①	沈殿分離槽	有効容量 0.317 m ³
②	嫌気ろ床槽	有効容量 0.600 m ³
③	ピーカット部	有効容量 0.120 m ³
④	接触ろ床槽	有効容量 0.296 m ³
⑤	処理水槽	有効容量 0.165 m ³
⑥	消毒槽	有効容量 0.015 m ³
総容量	1.513 m ³	
機器装置仕様		
嫌気ろ床槽材(円筒状)	PPまたはPE	充填率 43%
接触ろ床槽材(ロール状)	PPまたはPE	充填率 61%
接触ろ床槽材(板状)	PPまたはPE	充填率 21%
プロフ	60L/min φ13	連続運転 1台
槽本体	FRP	
パイプ類	PVC、PPまたはPE	
マンホール	PP500K(簡易ロック)	
消毒剤	固体塩素剤	
配管仕様		
露出配管(プロフ廻り)	VP	
土中配管	φ40以下~VP・φ50以上~VU	
槽内配管	メーカー仕様	

- 注1) 上部は歩行者荷重とする。
注2) 機器電源は単相100Vとする。
注3) 図中の" G. L" は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
注4) 浄化槽からプロフまでの距離は5m以内とする。
注5) 流入管・放流水工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
注6) 臭空管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
注7) プロフ付近にコンセント×1を設置のこと。設置は浄化槽工事範囲外とする。
注8) 岩掘削工事、杭工事、地盤改良工事、ウェルポイント工事は別途とする。

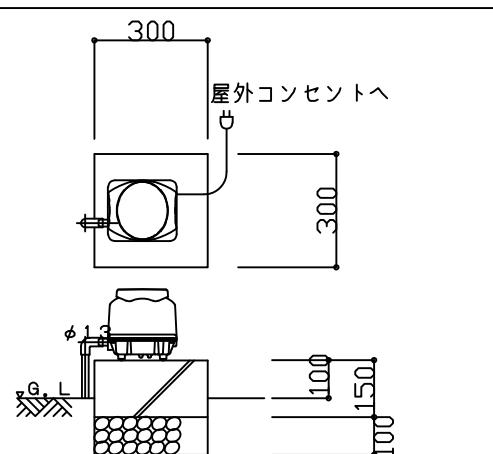
施工高さ範囲			
項目	嵩上げ高さ	流入管底	放流水底
最小寸法	50H	G. L-320	G. L-350
最大寸法(この図面)	300H	G. L-570	G. L-600
施工全高	1860H	2110H	2110H

注) 製品全高は、製品規格で+10、-20mmの公差があります。
流入・放流水底は、製品規格で製品全高に対し±10mmの公差があります。

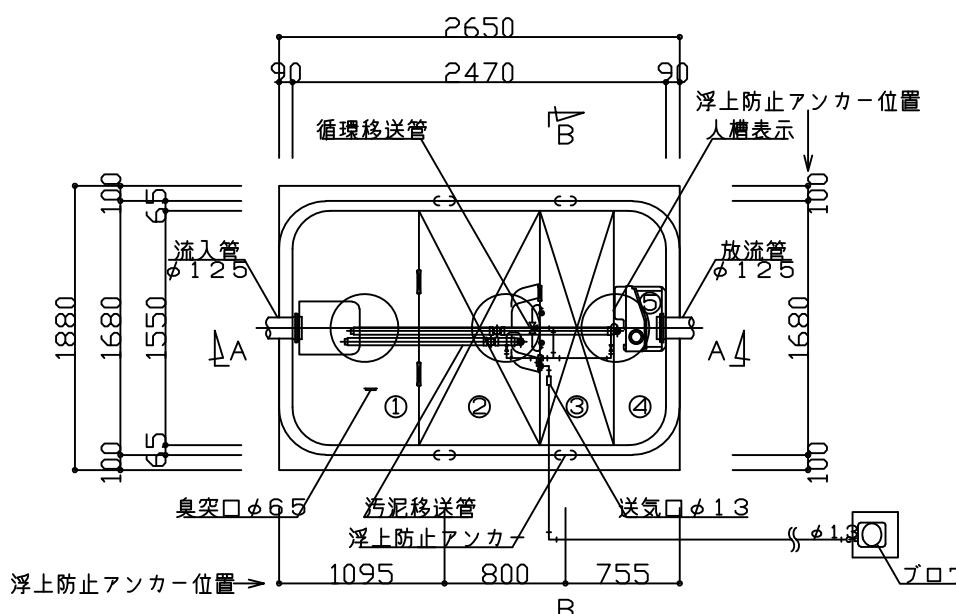
（参考図）浄化槽標準図（14人槽）



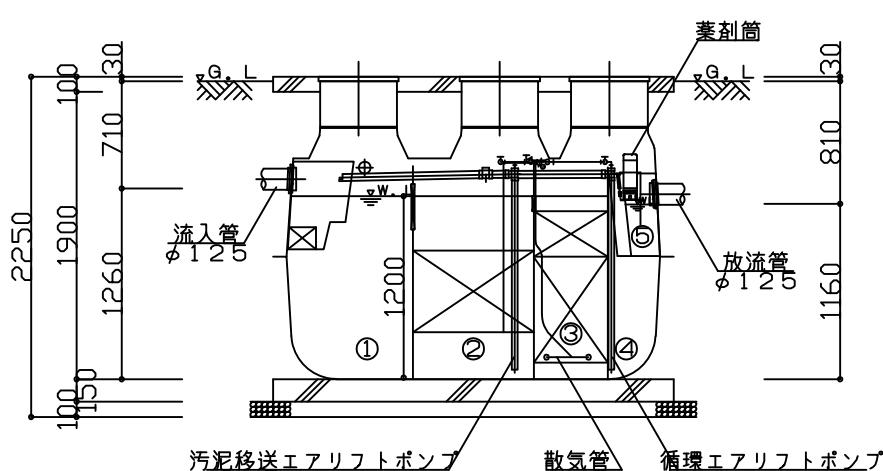
スラブ平面図 S=1:25(A1)



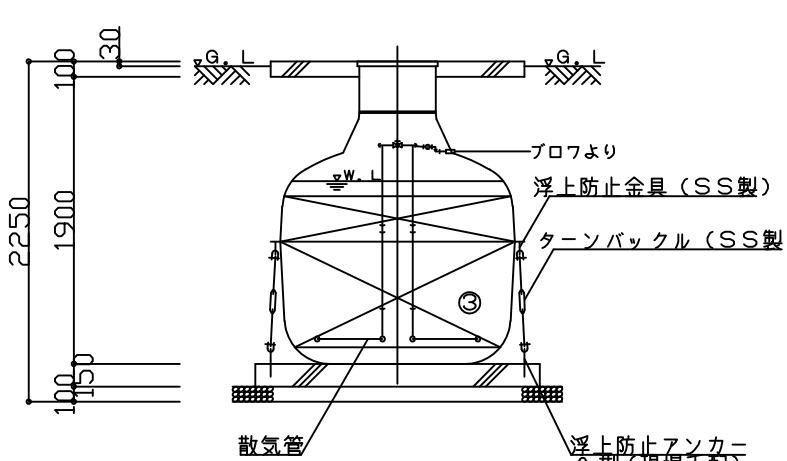
プロフ基礎参考図 S=1:20(A1)



内部平面図 S=1:25(A1)



A - A断面図 S=1:25(A1)



B - B断面図 S=1:25(A1)

仕様表					
設計番号	-				
処理方式	接触ろ床方式				
型式名称	14型				
処理対象人員	14人				
汚水量	2.80m ³ /d				
流入水質	BOD 200mg/L	COD 100mg/L	T-N 45mg/L	SS 160mg/L	
放流水質	BOD 20mg/L	COD 30mg/L	T-N 20mg/L	SS 15mg/L	
① 沈殿分離槽	有効容量		1.332	m ³	
② 嫌気ろ床槽	有効容量		1.335	m ³	
③ 接触ろ床槽	有効容量		0.830	m ³	
④ 処理水槽	有効容量		0.469	m ³	
⑤ 消毒槽	有効容量		0.030	m ³	
總容量	有効容量		3.996	m ³	
機器装置仕様					
プロフ	吐出量		口径	消費電力	運転方式
	100L/min		φ13	69W	連続運転
槽本体	FRP				
パイプ類	PVC、PPまたはPE				
ろ材	PPまたはPE				
マンホール	PP500K(簡易ロッカ)				
消毒剤	固形塩素剤				

注1) 上部は歩行者荷重とする。

注2) 機器電源は単相100V、総電力は6.9W

庄2) 機器電源は単相100V、総電力は0.9W、
一次側引入電気容量は1.5A以上とする

注3) 図中の”G-1”は換気槽位置での仕上げレベルを示す。

注3) 図中の G. E. は淨化槽位置との往來り
注4) 濾化槽からゴロゴまでの距離は 1.0 m 以内

注4) 洋化槽からノロリまでの距離は10m以内とする。
注5) 滲入管、放流水管は別冷とする。又塙結工事は換化槽工事範囲外とする。

注5) 流入管・放流管工事は別途とする。又接続工事は淨化槽工事範囲外とする。
注6) 皇室管工事は別途とする。又接続工事は淨化槽工事範囲外とする。

注6) 真空管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
注7) ブローバイ附近にコンクリートシールドを設置の上、設置は浄化槽工事範囲外とする。

注 1) プロウ付近にコンセント×1を設置のこと。設置は浄化槽工事範囲外とする。
注 2) 地耐力は4.0kN/m²以上必要とする。(実際の工事費が確認後施工の実績による)

注8) 地耐力は40kN/m²以上必要とする。(実際の事業者が確認後施工の事)

注9) 岩掘削工事、杭工事、地盤改良工事、ウェルポイント工事は別途とする。

施工高さ範囲

施工高さ範囲

項目	高さ	加入量	放流量	施工
量小走	0H	G 1 - 400	G 1 - 500	19

簡易 最小寸法	50H	G. L-400	G. L-500	19
最小寸法(嵩上)	50H	G. L-400	G. L-500	20

ロック	最小寸法(高さ)	300H	G. L-480	G. L-580	200
	最大寸法(この画面)	300H	G. L-710	G. L-810	330

注) 制品公差は、制品規格で +1.0 mm ~ -0.2 mm の公差がなれています。

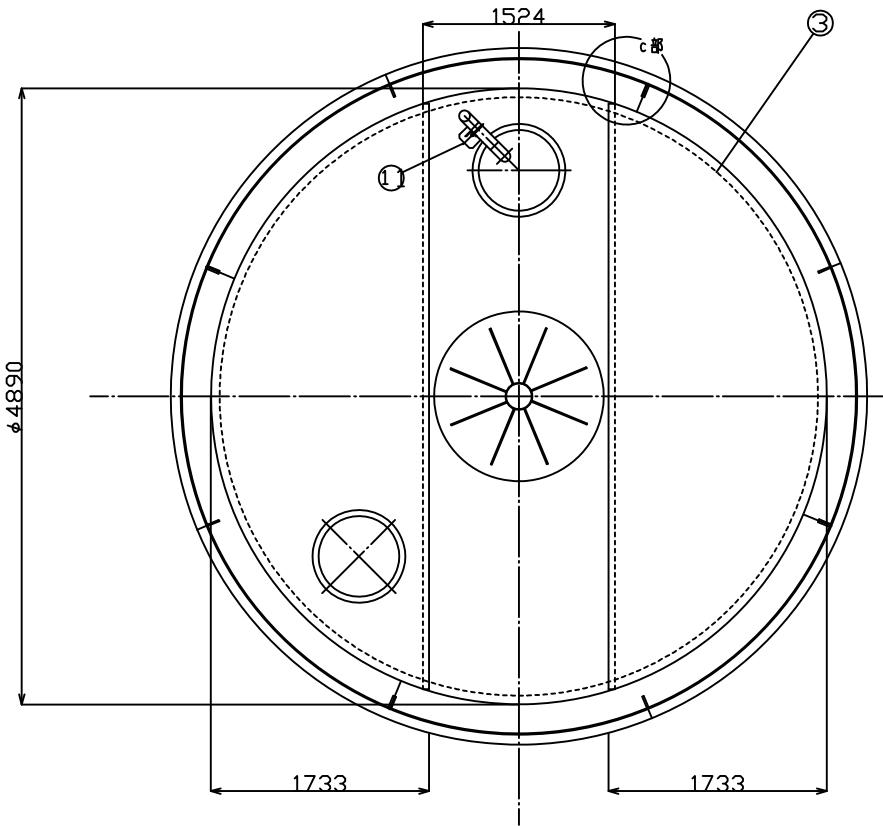
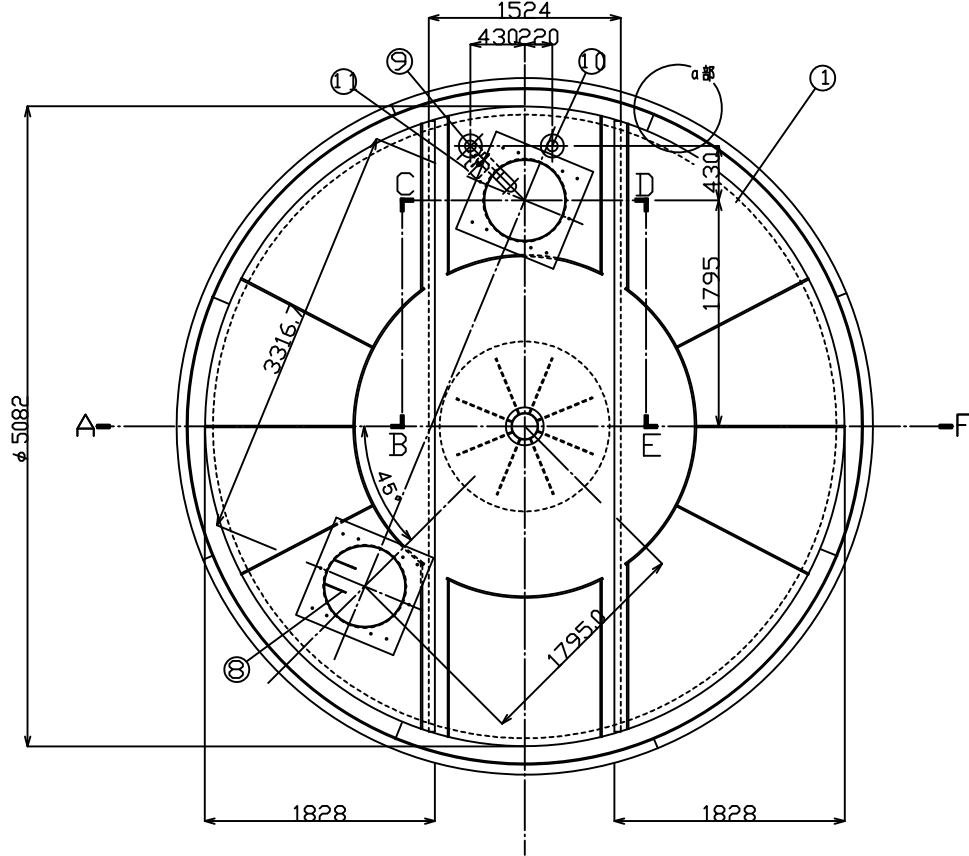
施工高さ範囲					
MH	項目	嵩上げ高さ	流入管底	放流管底	施工全高
簡易 ロック	最小寸法	0H	G. L - 400	G. L - 500	1940H
	最小寸法(嵩上)	50H	G. L - 460	G. L - 560	2000H
	最大寸法(この図面)	300H	G. L - 710	G. L - 810	2250H

注) 製品全高は、製品規格で $\pm 10\text{ mm}$ - 20 mm の公差があります。

流入・放流管底は、製品規格で製品全高に対して±10mmの公差があります。

令和7年度	
業務名	災害公営住宅(仮称柳田団地)整備事業
路線名	
箇所	鳳珠都能登町天坂及び五郎左エ門分 地内
図名	(参考図)浄化槽標準図(14人槽)
縮尺	図示
図面番号	11 / 14
能登町	

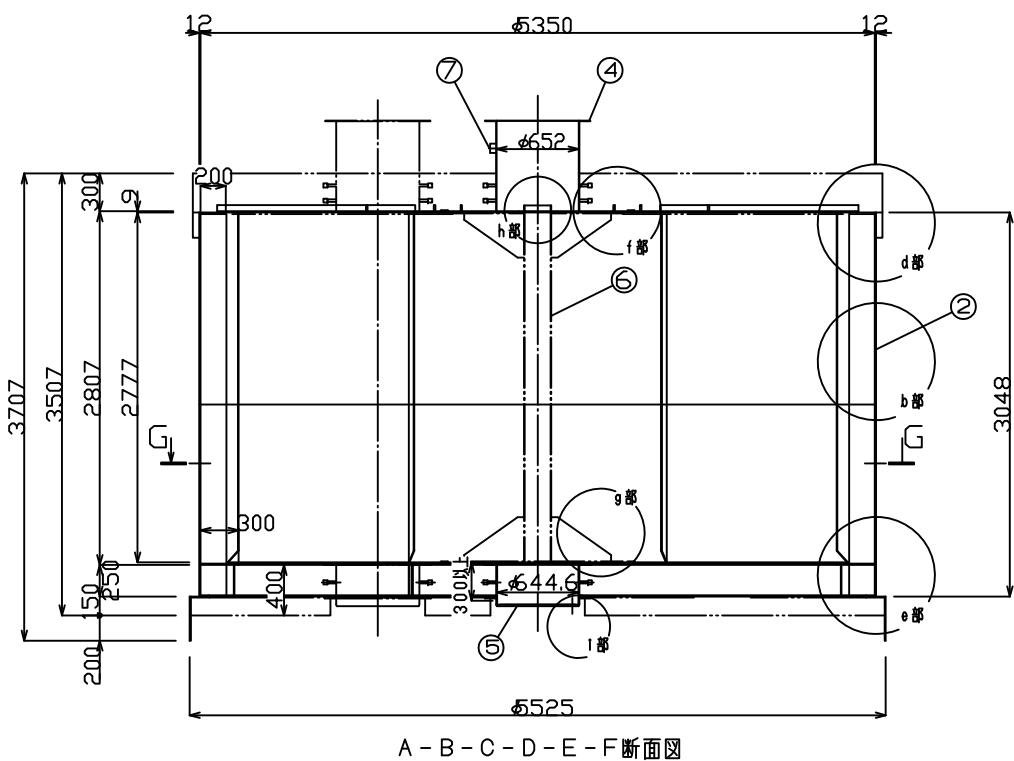
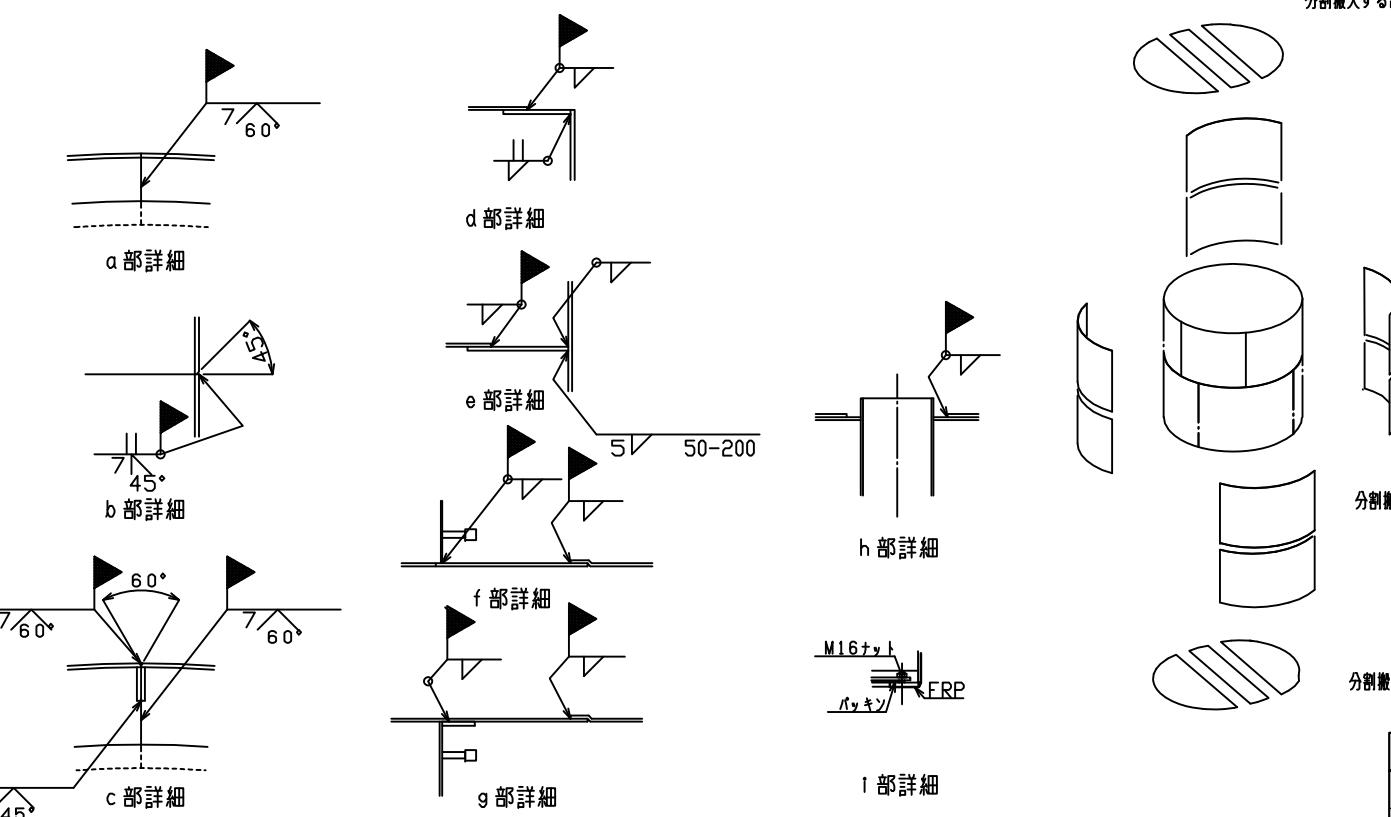
防火水槽構造図(1)



符 号	名 称	材 質	備 考 (主 材 料)
①	頂板 (3分割)	SS400	9 mm (JIS公差)
②	側版 (標準8分割)	SS400	12 mm (JIS公差)
③	底板 (3分割)	SS400	9 mm (JIS公差)
④	吸管投入孔	SS400	内径φ652×板厚4.5 mm (JIS公差) 6 mm (JIS公差)
⑤	集水ピット	SS400	内径φ644.6×板厚7.9 mm (JIS公差)
⑥	内部支柱	STK400	内径φ204.3 外径φ216.3
⑦	給水口		オプション
⑧	梯子取付金具		
⑨	採水口	SUS304	80A×Sch20S 10K SOP-FF
⑩	通気口	SUS304	80A×Sch20S 10K SOP-FF
⑪	配管支持金具	SUS304	L-65×65×6 80A Uボルト付

組立状況

部材数 3
分割搬入する部材を円状に組立てる。

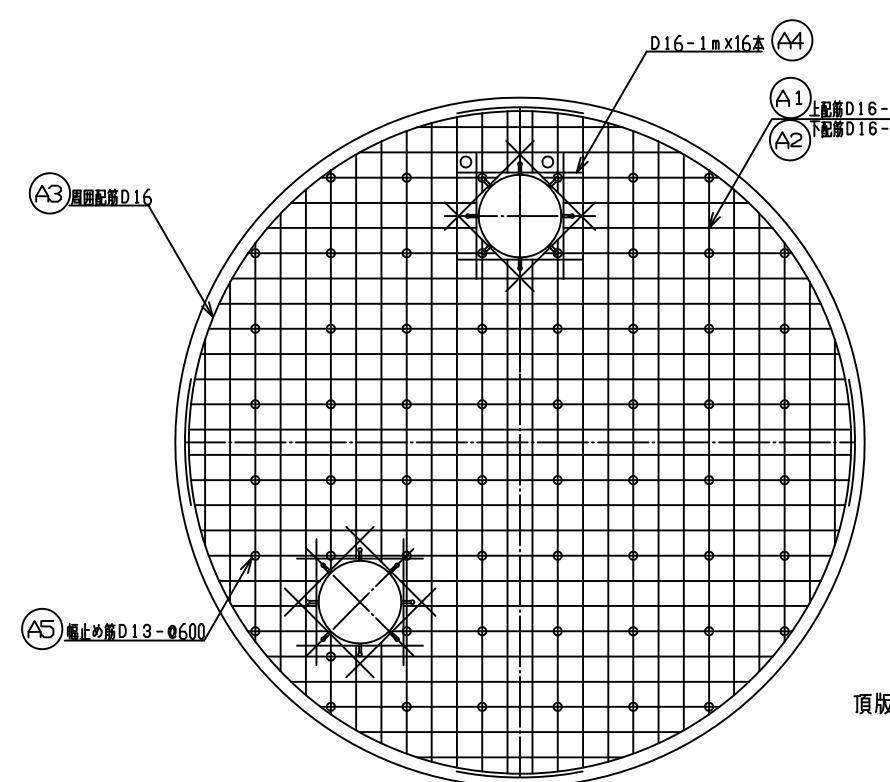
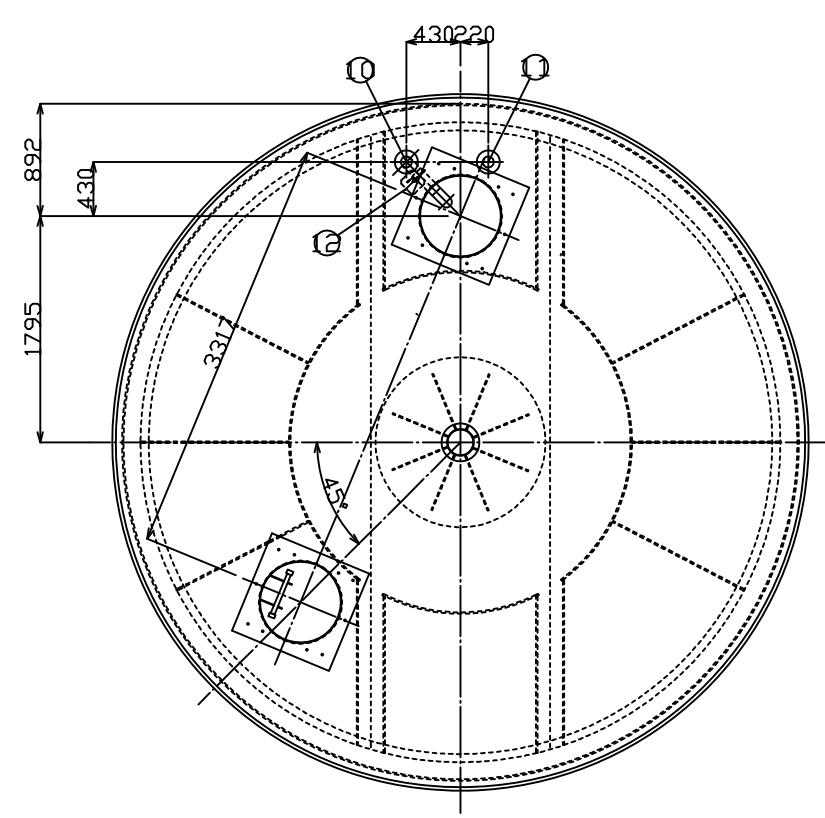


部材数 8 (標準)
分割搬入する部材を円状に組立てる。

部材数 3
分割搬入する鋼板を円状に組立てる。

令和 7 年度	
業務名	災害公営住宅(仮称柳田団地)整備事業
路線名	
箇所	鳳珠郡能登町天坂及び五郎左エ門分 地内
図名	防火水槽構造図(1)
縮尺	S=1:30(A1) S=60(A3)
図面番号	12 / 14
能 登 町	

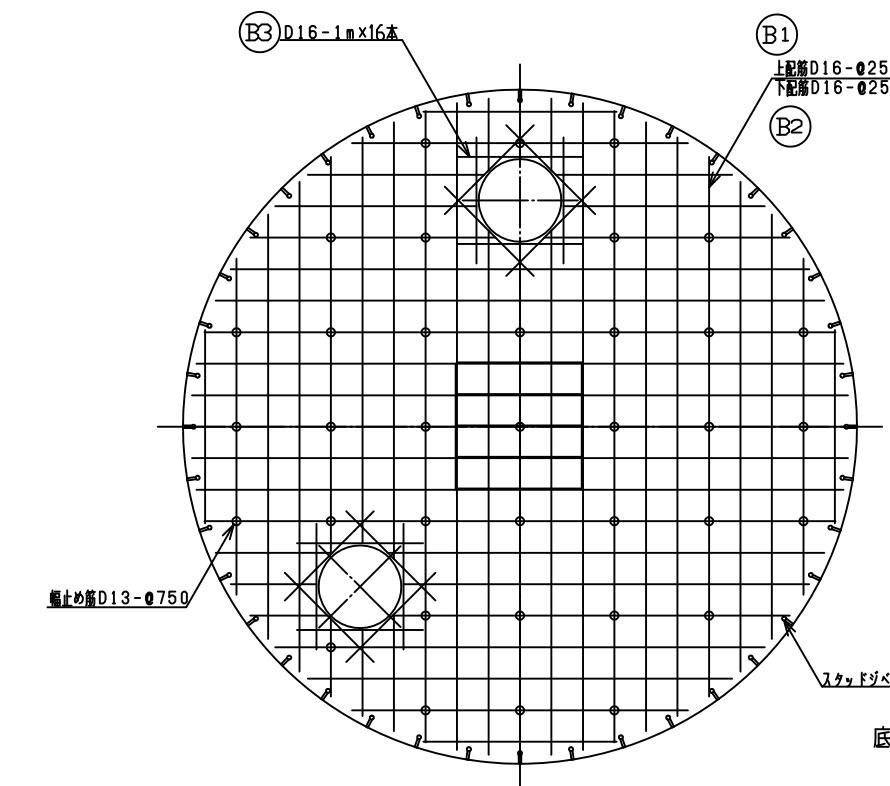
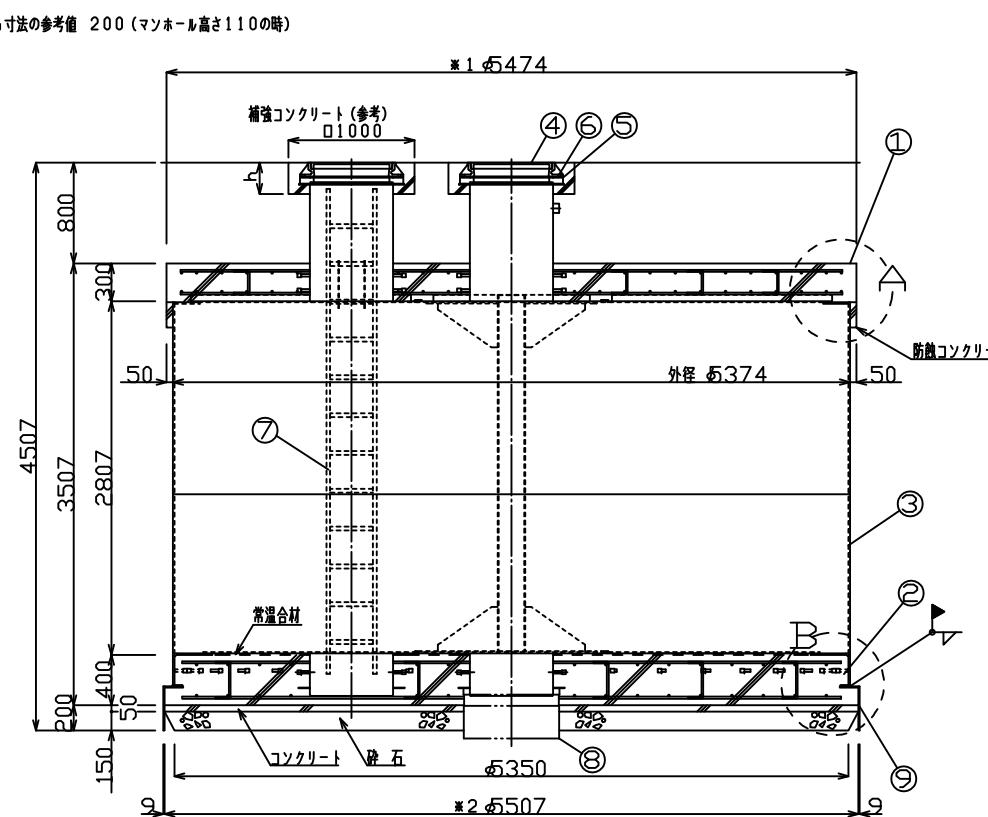
防火水槽構造図(2)



No.	名 称	材 質	数 量	仕 様	備 考
1	頂版コンクリート	錆落コンクリート	1		
2	底版コンクリート	錆落コンクリート	1		
3	本体	SS400	1	—	
4	マンホール	錆鐵	2	φ600	客先仕様による
5	調整リング	コンクリート	0~	φ600	必要な場合客先にて手配、設置
6	マンホール蓋用ボルト、ナット	ナッキ	6組	—	
7	梯子	FRP	1	—	
8	ピット外枠	SS400	1	—	
9	塗削用治具	SS400	1	—	
10	採水口	SUS304	1	80A	Sch20S 10K SドP-FF
11	通気口	SUS304	1	80A	Sch20S 10K SドP-FF
12	配管支持金具	SUS304	1	L-65×65×6	80A Uボルト付き

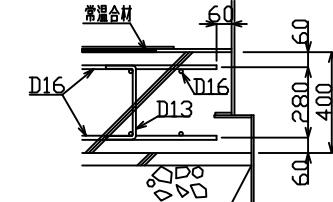
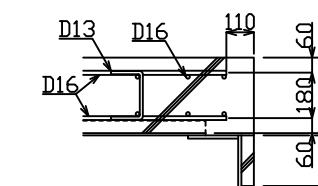
記号	名称	径	長さ	本数	一本当たり重量	質量	備考
A1	上筋	D16	長さ 209340	66	---	327	---
A2	下筋	D16	長さ 209340	66	---	327	---
A3	周囲配筋	D16	5130	8	8.00	64	---
A4	補強筋	D16	1000	32	1.56	50	---
A5	幅止め筋	D13	420	60	0.42	25	---
合計		D16			768 kg		
合計		D13			25 kg		
総重量					793 kg		
コンクリート体積 (24 N/mm ²)					7.23 m ³		

*鉄筋はSD295A以上を使用



記号	名称	径	長さ	本数	一本当たり重量	質量	備考
B1	上筋	D16	長さ 172990	61	---	271	---
B2	下筋	D16	長さ 172990	61	---	271	---
B3	補強筋	D16	1000	32	1.56	50	---
B4	幅止め筋	D13	520	36	0.52	19	---
合計 D16					592 kg		
合計 D13					19 kg		
総重量					611 kg		
コンクリート体積 (24N/mm ²)					9.19 m ³		
常温合材重量					369.0 kg		

*鉄筋はSD295A以上を使用



A部詳細図 (1/20)

B部詳細図 (1/20)

注記：本図を標準とし浮力対策必要物件では浮力条件に合せて※1、※2を決定する。

又、本図頂版形状が型枠の関係上円形に出来ない場合、*1でφ5374mm以上

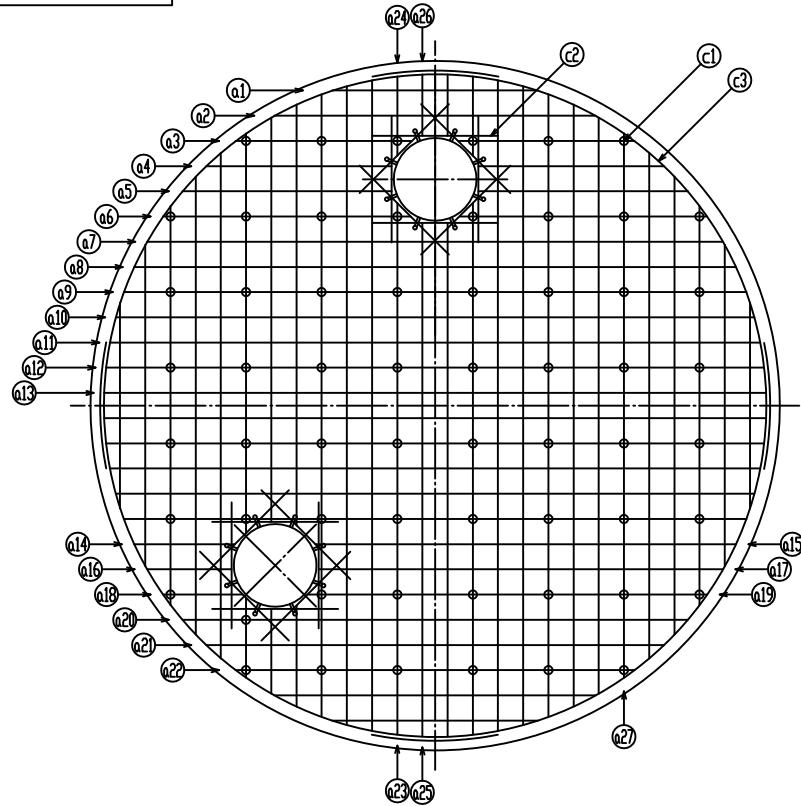
になる多角形とする。(なるべく円形に近くなるよう施工す

底版部*2を変更する場合はそれに合せ掘削治具を製作する

令和 7 年度	
業務名	災害公営住宅(仮称柳田団地)整備事業
路線名	
箇所	鳳珠都能登町天坂及び五郎左門分 地内
図名	防火水槽構造図(2)
縮尺	S=1:30(A1) S=60(A3)
図面番号	13 / 14

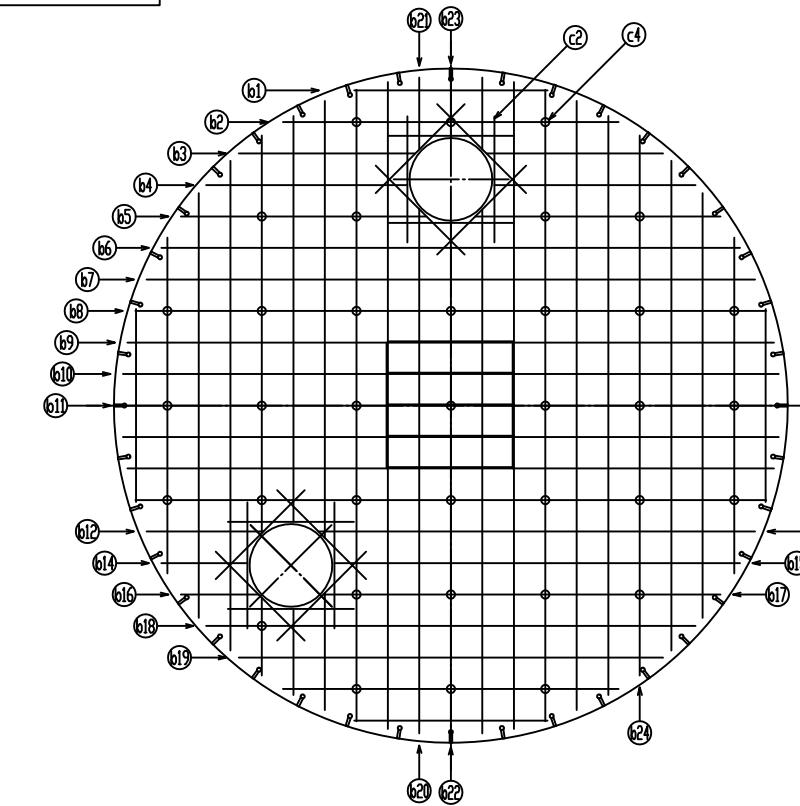
防火水槽構造図(3)

頂版 配筋図(上下筋)



① (S=1/10)
180
120

底版 配筋図(上下筋)



④ (S=1/10)
280
120

*重量は概算値

△	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	重 量 (kg)	形 状	△	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	重 量 (kg)	形 状	△	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	重 量 (kg)	形 状	△	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	重 量 (kg)	形 状	△	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	重 量 (kg)	形 状
α1	D16	1630	8	20	—	α16	D16	670	4	4	—	b1	D16	1530	8	19	—	b16	D16	620	4	4	—	c1	D13	420	60	25	□
α2	D16	2550	8	32	—	α17	D16	3210	4	20	—	b2	D16	2670	8	33	—	b17	D16	3150	4	20	—	c2	D16	1000	64	100	—
α3	D16	1400	4	9	—	α18	D16	630	4	4	—	b3	D16	1400	4	9	—	b18	D16	3890	6	36	—	c3	D16	5130	8	64	R2630
α4	D16	1470	4	9	—	α19	D16	3170	4	20	—	b4	D16	1600	4	10	—	b19	D16	3370	6	32	—	c4	D13	520	36	19	□
α5	D16	1660	4	10	—	α20	D16	4010	6	38	—	b5	D16	1950	4	12	—	b20	D16	4160	4	26	—	c5	D13	420	60	25	□
α6	D16	1970	4	12	—	α21	D16	3640	6	34	—	b6	D16	4590	4	29	—	b21	D16	570	4	4	—	c6	D13	420	60	25	□
α7	D16	4570	4	29	—	α22	D16	3170	6	30	—	b7	D16	4830	4	30	—	b22	D16	4070	2	13	—	c7	D13	420	60	25	□
α8	D16	4780	4	30	—	α23	D16	4220	4	26	—	b8	D16	5010	8	63	—	b23	D16	480	2	1	—	c8	D13	420	60	25	□
α9	D16	4940	8	62	—	α24	D16	630	4	4	—	b9	D16	3070	16	77	—	b24	D16	4280	2	13	—	c9	D13	420	60	25	□
α10	D16	5070	8	63	—	α25	D16	4080	4	25	—	b10	D16	3100	8	39	—	b25	D16	4280	2	13	—	c10	D13	420	60	25	□
α11	D16	5160	8	64	—	α26	D16	490	4	3	—	b11	D16	3120	4	19	—	b26	D16	4280	2	13	—	c11	D13	420	60	25	□
α12	D16	5230	4	33	—	α27	D16	4320	2	13	—	b12	D16	930	4	6	—	b27	D16	4280	2	13	—	c12	D13	420	60	25	□
α13	D16	5260	4	33	—							b13	D16	3470	4	22	—							c13	D13	420	60	25	□
α14	D16	800	4	5	—							b14	D16	680	4	4	—							c14	D13	420	60	25	□
α15	D16	3340	4	21	—							b15	D16	3220	4	20	—							c15	D13	420	60	25	□

令和 7 年度

業務名	災害公営住宅(仮称柳田団地)整備事業
路線名	
箇所	鳳珠郡能登町天坂及び五郎左エ門分 地内
図名	防火水槽構造図(3)
縮尺	S=1:30(A1) S=60(A3)
図面番号	14 / 14
能登町	